

## 1. 概要

日 時：平成20年9月6日（土） 県民フォーラム 13:00～16:10  
展示コーナー 10:00～17:00  
親子見学会 11:00～12:00

会 場：ラピア鹿島

主 催：石川県、中能登町

後 援：(財)石川県下水道公社、石川県流域下水道協議会、石川県都市計画協会  
石川県土地改良事業団体連合会、(社)石川県浄化槽協会 等

来場者数：約400名

## 2. プログラム

### (1) 県民フォーラム

#### ①開会あいさつ

中能登町 町長 杉本 栄蔵 氏

#### ②基調講演 「私たちの暮らしと水環境」

講 師：(財)下水道新技術推進機構下水道新技術研究所 所長 栗原 秀人 氏

#### ③アトラクション 中能登町二宮地区「みれんぼ橋保存会」による舞踊

#### ④パネルディスカッション 「身近な水環境と共に生きるためには」

##### ◇コーディネーター

森山 奈美 氏 (株)御祓川 代表取締役社長

##### ◇アドバイザー

栗原 秀人 氏 (財)下水道新技術推進機構下水道新技術研究所 所長

##### ◇パネリスト

村島 和男 氏 石川県立大学生物資源環境学部環境学科 教授

法橋 秀吉 氏 中能登町区長会 会長

石見 清子 氏 中能登町女性協議会 会長

平井 衛 氏 中能登町青壮年団連絡協議会 会長

時国 公政 氏 (財)日本鳥類保護連盟石川県支部 支部長

### (2) 展示コーナー

生活排水処理（下水道、農業集落排水）の紹介パネル、汚水処理と微生物の働き、パーチャルウォーター、能登町海洋深層水、中能登町中学生の下水道啓発ポスター、浄化槽の実物・模型、下水道リサイクル製品、水環境にちなんだクイズラリー など

### (3) 親子見学会

「見て学ぶ下水道」

- ・下水処理場（中能登町鹿島中部クリーンセンター）
- ・污泥発酵肥料化施設（中能登町鹿西東部浄化センター）

## (1) 県民フォーラム

### ① 開会挨拶

■ 中能登町長 杉本 栄蔵 氏



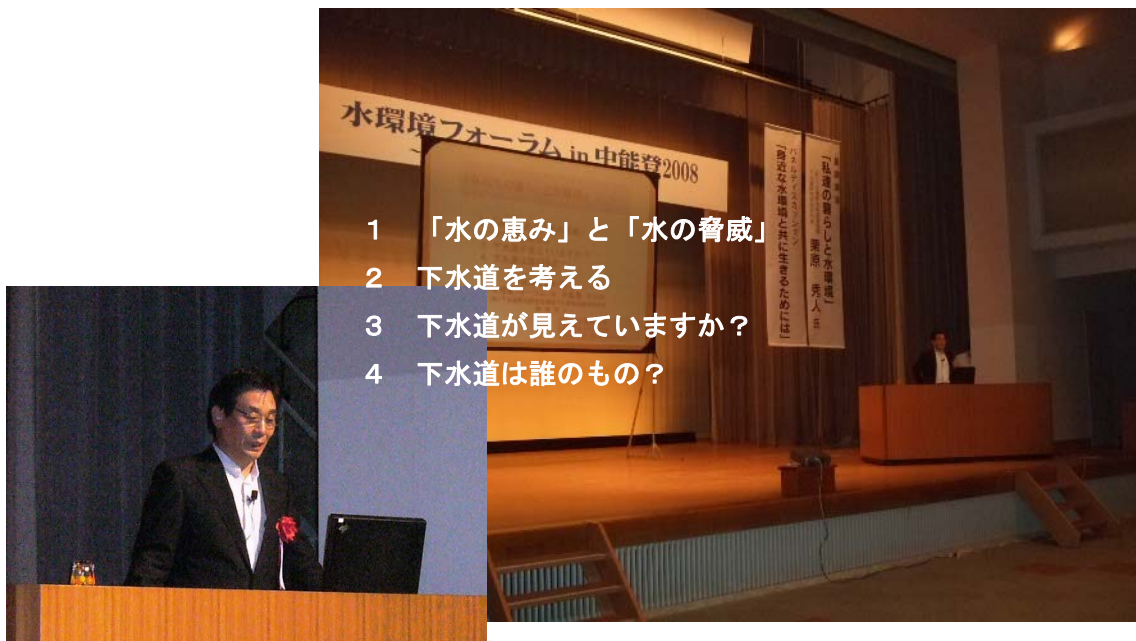
中能登町は、ホテルが飛び交う自然があふれる豊かな水環境の町であるが、更なる水環境の向上を進めなければならない。

一人ひとりが、自分たちの住む地域から環境を守るための取り組みを一つひとつ進めていくことが何よりも大切。

フォーラムを契機として、美しい郷土を守り、きれいな水のある暮らしの輪がますます広がることを祈念する。

### ② 基調講演 「私たちの暮らしと水環境」

■ (財)下水道新技術推進機構 下水道新技術研究所長 栗原 秀人 氏



#### ④ パネルディスカッション

### 「身近な水環境と共に生きるためには」

ROUND 1 水環境にどのように関わっているか

ROUND 2 水環境の実態及び方向性をどのように考えるか

<会場とのやり取り>

ROUND 3 それぞれの立場で できること、考えられること

まとめ 「つなごう」

- つ “造る”から“管理”へ
- な 中能登の良さを再発見しよう
- ご 互換性が利く排水処理
- う ウチから出る排水がどこへ行くか



コーディネーター  
＜森山 氏＞

アドバイザー  
＜栗原 氏＞

パネラー  
＜村島 氏＞＜法橋 氏＞＜石見 氏＞＜平井 氏＞＜時国 氏＞



<会場とのやり取り — 色紙アンケート(左)、質疑応答>

### ③ アトラクション — 舞踊

■ 中能登町二宮地区 みれんぼ橋保存会 のみなさん



### (3) 親子見学会 「見て学ぶ下水道」



## (2) 展示コーナー

会場では、浄化槽の実物・模型、中能登町中学生のポスター作品、汚水処理と微生物の働きなどの展示がおこなわれ、会場を訪れた地元住民や子供たちの関心を集めた。



浄化槽の実物・模型



汚水処理と微生物の働き



下水道の紹介パネル



バーチャルウォーター



中能登町中学生のポスター作品



海洋深層水

## ■ 会場の様子

講演やパネルディスカッションの他、下水道や水に関する展示、クイズラリーがおこなわれ、フォーラムを盛り上げた。また、中能登町にある下水処理場の親子見学会も開催された。



会場（ラピア鹿島）



フォーラム受付



展示コーナー



展示コーナー



展示コーナー

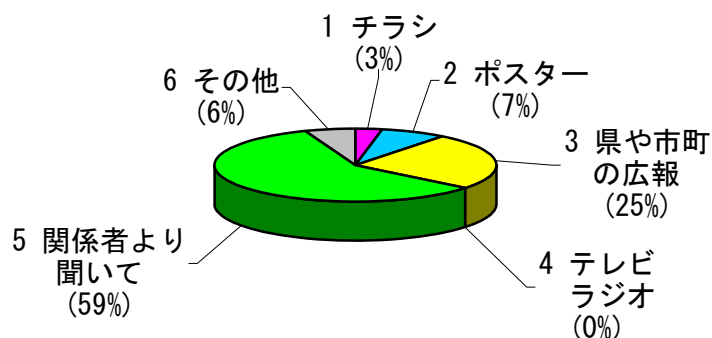


クイズラリー受付

## ■ 参加者アンケート結果

### 問1 本日の催しをどこで知りましたか

フォーラムを知ったきっかけでは、「関係者より聞いて」の回答が半数以上で最も多かった。主催者からの精力的な呼びかけが、約400人の参加者を集めることができた原動力になったとうかがわれる。又、「県や市町の広報」もフォーラムのPRに効果的であった。



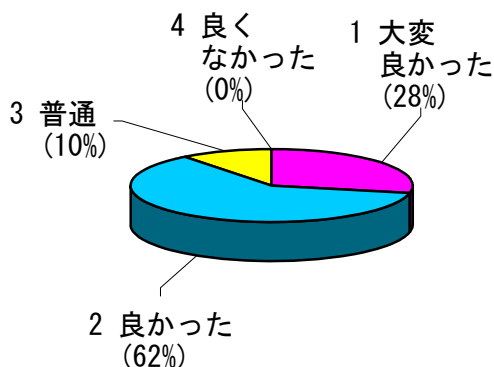
(その他の意見)

- ・町内会役員より
- ・案内文
- ・行政からの案内

### 問2 本日のフォーラムの内容はいかがでしたか

#### ◇基調講演「私たちの暮らしと水環境」

「大変良かった」、「良かった」の回答が90%となっており、身近な題材やわかりやすい説明、環境への関心の高まりが好評を得た要因と考えられる。

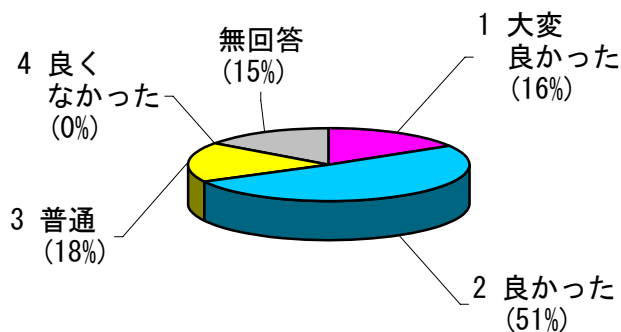


(答えの理由)

- ・地元の実態を織り込んだ説明が良かった。
- ・説明がわかりやすく、心にしみた。
- ・仕組みがよくわかった。
- ・学校の生徒にも講演すればいかが！
- ・内容がわかりやすかった。
- ・一般的に水に感心があること。
- ・下水処理の重要性がわかった。
- ・声の大きさ、めり張りのある話し方、話のわかりやすさが良かった。
- ・単価などわかりやすかった。
- ・水環境に関して自分がまだまだ家庭でできること、しなければいけない事があると考えさせられた。
- ・水の役割など勉強になった。
- ・下水道について考えさせられた。下水道に興味が出た。

#### ◇パネルディスカッション「身近な水環境と共に生きるためには」

「良かった」、「大変良かった」の回答が三分の二にのぼり、具体的な話題や工夫を凝らした進行が、会場の興味を引いたものと思われる。



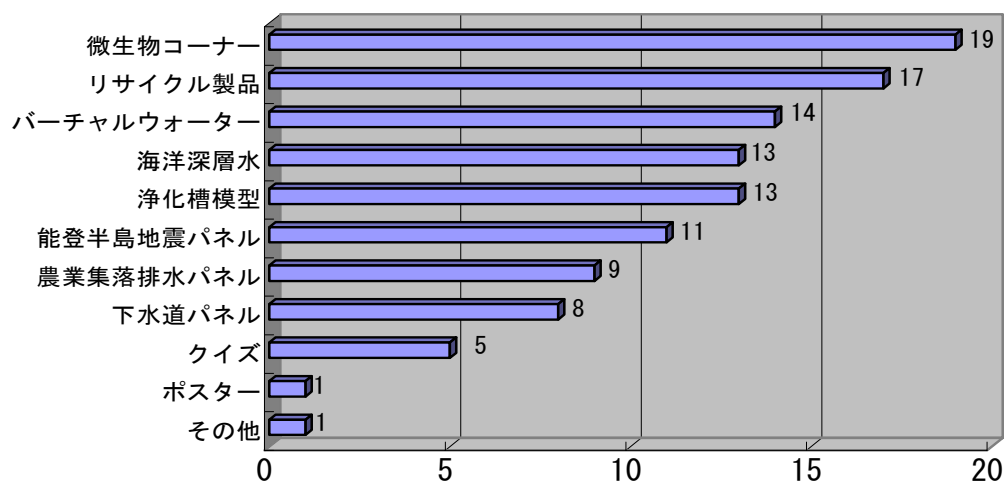
(答えの理由)

- ・コーディネーターの進行が常にテーマを念頭においたもので、パネラーも発言しやすく、又、会場を巻き込んだ工夫も良かった。
- ・時国さんの話がよく、もっと聞きたいと思った。
- ・下水処理にこだわらず、下水処理を含め環境を考えることが大事。
- ・希に見る上出来ではなかったか。司会の森山さんほうまい。  
会場の意見を聞く3枚の色紙は良かった。
- ・自分の知らない情報がいろいろ聞けてよかった。

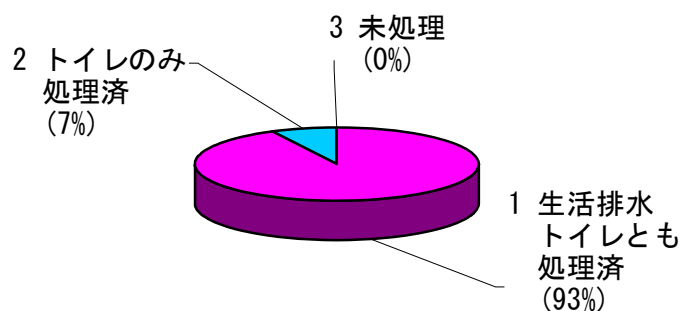


### 問3 展示コーナーで、興味深かったもの

展示コーナーについて複数回答可として聞いたところ、「微生物コーナー」が19件で最も多かった。汚水をきれいにする微生物の説明と顕微鏡映像等を組み合わせた展示が興味を引いたものと思われる。また、リサイクル製品や、バーチャルウォーターなどの展示にも多くの関心が寄せられ、環境問題への意識が高まってきていることがうかがわれた。

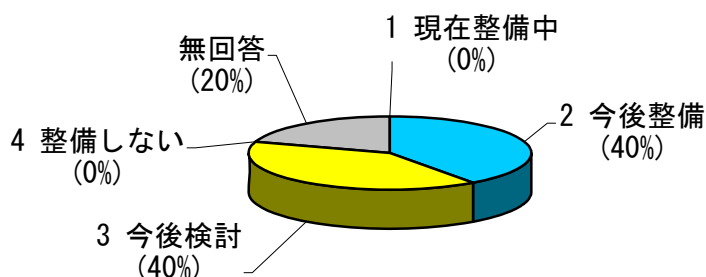


### 問4 ご自宅の生活排水処理について、現在の状況



### 問5 今後の生活排水処理施設整備（下水道、浄化槽等）に対する考え （問4で2または3と答えた方）

「整備しない」との回答は1件もなく、生活排水処理施設整備へ理解が得られてきているものとうかがわれる。



問6 問5で4とお答えになった方、その理由は何ですか。

該当なし。

問7 生活排水処理施設の普及促進についてのご意見、また、日頃の生活の中での環境配慮の取り組みについてお書きください。

日頃の生活の中での環境配慮の取り組みとして様々な意見が出され、環境配慮への関心が高まってきている事が感じられた。

- ・ 電力使用量削減。京都議定書の'90年度比6%削減を目指し、本年3月末で11%減ができた。
- ・ マイバッグ。環境にやさしい洗剤。
- ・ 広い意味でエネルギー消費(材料、加工を含め)を最小限にする生活。
- ・ リサイクルの徹底。第1次産業の重視、尊重。
- ・ 自然環境のことを考えると、強制的にでも下水道につなげる仕組みが必要だと思います。
- ・ リサイクル出来る物はリサイクルに。
- ・ フォーラムは土日以外にしてほしい。
- ・ マイバッグ。風呂の水を洗たく水に。生ごみを畑に。
- ・ マイバッグ。
- ・ 風呂の残り水→植物の水まき(夏)、道路にまく(夏)。マイバッグ。
- ・ マイバッグ。
- ・ 下水道加入の促進(PR)をはかる。
- ・ マイバッグ。洗剤の減量。資源ゴミリサイクル(分別の徹底)。
- ・ 油の付いた皿は紙でふいて洗っています。マイバッグは仲々できない、袋はゴミ袋として使っています。
- ・ マイバッグ。水の出しっぱなしはしない。
- ・ 環境にやさしい洗剤の使用。水使用節約。
- ・ 洗濯水は風呂の残り湯を使用している。下水道の有効なことが理解できてよかった。
- ・ マイバッグでできるだけ買物をこころがけています。
- ・ 洗剤の量を減らしている。
- ・ マイバッグ。節電。
- ・ エコクッキング。マイバッグ。
- ・ マイバッグをもっていく。自然にかえると云う洗剤を使っている。
- ・ 電気をこまめに消す。クーラーを極力使用しない。マイバッグを使用。